車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために…… 246
雨の日の快適ドライブ …… 246
夏の快適ドライブ …… 247
寒冷時の取り扱い …… 248
タイヤチェーンについて …… 252

●お手入れのしかた…… 253
外装のお手入れ …… 253
内装のお手入れ …… 256
その他のお手入れ …… 258
ワイパーの交換 …… 258
タイヤの交換 …… 260
タイヤ空気圧警報システム（空気圧充填完了ガイド機能付）… 264

●より良い環境のために…… 267
環境に配慮した省エネ運転をするために … 267
使用済み部品は適切に処理しましょう … 267

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口を にして、吸い込み口は外気導入にします。

冬でもエアコンを活用してください。

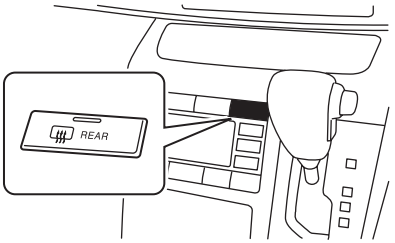
窓ガラスのくもりの取りかた… P.222

知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

バックドアガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.154）を使い、くもりを取ってください。



ZPA0667

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。（P.259）

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、安全な場所に停車して冷やしてください。

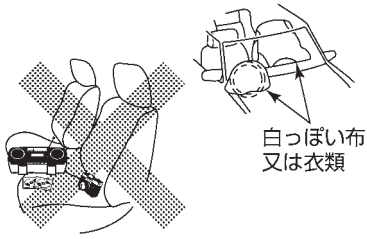
オーバーヒートしたときは…P.275

アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011

⚠ 警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。
  また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

サービスデータ（エンジンオイル）…P.300

■バッテリー液の点検、補給

メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
50%	約−35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

サービスデータ（冷却水）…P.301

アドバイス

- 工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（P.260）
- タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（P.252）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャー液の補給…P.258

⚠ 注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をお使いください。
詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワンタッチオートスライドドア付車又はリモコンオートバックドア付車は、開閉できるかどうか手動で確認してから、オート作動させてください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因になります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
  タイヤチェーンについて…P.252
- 雪道を走行するときは、4WD車は駆動モード切り替えスイッチ（P.170）をAUTO又はLOCKに切り替えます。

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。
  洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- この車はタイヤと車体のすき間が狭く、お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
  タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠ 注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

●塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。

・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。

・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。

・ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

●ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。

●ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。

②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。

・汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。

③はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠ 注意

●下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

アドバイス

●洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。

●硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。

●寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

自動洗車機

ドアミラー（P.86）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。
- ルーフスポイラー付車は、洗車機の種類によってはスポイラーが引っ掛かり、洗車できないことがあります。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。

②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
  日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アルミロードホイールのお手入れ

●中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。

※詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

●変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。

・強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。

・洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）

・洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。

・硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

内装のお手入れ

⚠ 注意

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。

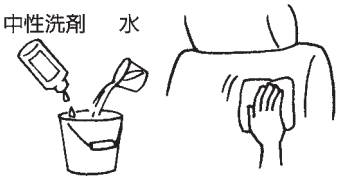
カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。
フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
フロアカーペット…P.243

TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

本革シートのお手入れ★

■通常のお手入れ

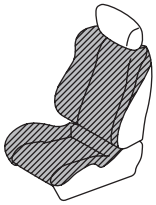
ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

①ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
②真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
③乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。



ZSD0034

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

バックドアガラス、リヤサイドウインドーの清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

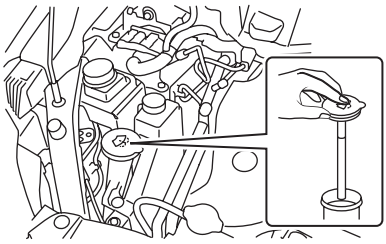
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

- ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポイト式にウオッシャー液の残量が点検できます。引き抜いたときにウオッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウオッシャータンクはほぼ空の状態です。
- ウオッシャー液は日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャータンク容量…P.301



ZSD0028

⚠ 注意

- ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

アドバイス

- ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
塗装面がしみになるおそれがあります。

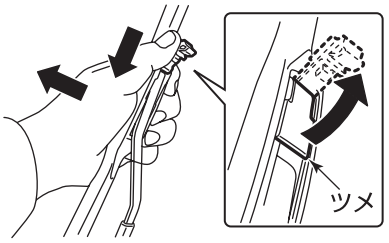
知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウオッシャータンクは兼用です。

ワイパーの交換

ワイパーブレードの交換

①ワイパーアームを起こします。
②ブレードのツメのロックを外し、ブレードを矢印の方向に引きながらアームから取り外します。



ZSD0029

③新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ツメがロックされブレードが確実に固定されていることを確認します。

⚠ 注意

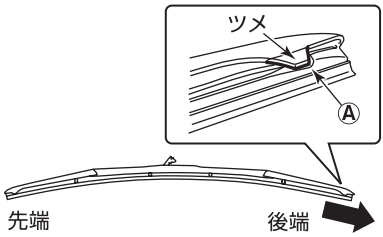
- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

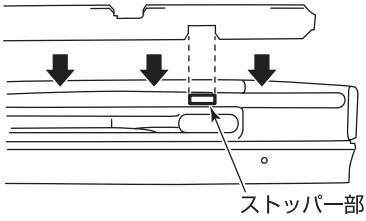
ワイパーゴムの交換

①ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
②ブレードのツメをワイパーゴムⒶ部（後端）から外して矢印方向にスライドし、取り外します。



ZSD0030

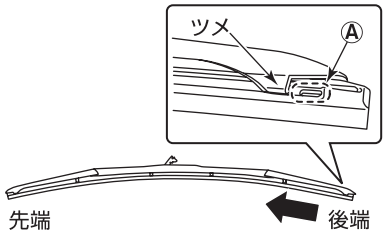
③取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
・金属のプレートは、切りかきがワイパーゴムのストッパー部に合うように向きに注意してセットしてください。



ZSD0036

※ゴムのストッパー部は左右非対称です。

・ワイパーゴムのⒶ部がない側からブレードに沿って差し込み、ブレードのツメをⒶ部に入れて固定します。



ZSD0031

アドバイス

- ワイパーゴムを取り外すときは、カバーを無理に引っ張らないで下さい。無理に引っ張ると切れるおそれがあります。

知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

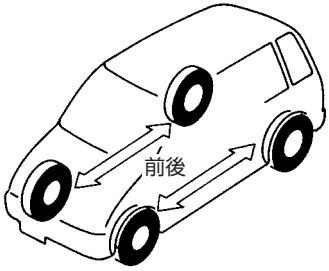
タイヤの交換

⚠ 注意

- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

■タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。
タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。



TSA2431Z

⚠ 注意

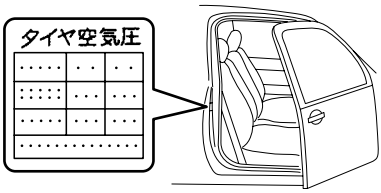
- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

■タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
  タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



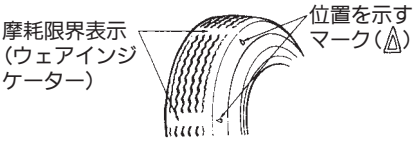
TCE0005Z

⚠ 注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCのシステムが正常に作動しないことがあります。
  次のようなタイヤの装着はしないでください。
  - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
  - ・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
  - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの修理や交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやオフセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤ空気圧センサーが付いていないロードホイールを装着すると、タイヤ空気圧警告灯が点灯を続けます。
  元のタイヤ空気圧センサーが付いているロードホイールを取り付けたあと、約25km/h以上でしばらく走行するとタイヤ空気圧警告灯は消灯します。
- タイヤやロードホイールを交換するときは、次のように付け替えたロードホイールにもタイヤ空気圧センサーを装着してください。タイヤ空気圧センサーを装着するには3通りの方法があります。
  - ・元のロードホイールからタイヤ空気圧センサーを取り外し、新しいロードホイールに取り付ける。
  - ・元のロードホイールをタイヤ空気圧センサーが付いたまま使用し、タイヤだけを交換する。
  - ・新しいロードホイールと共に新しいタイヤ空気圧センサーを取り付ける。

  新しいタイヤ空気圧センサーを取り付けたときは、専用のIDコードを登録する必要があります。詳しくは、日産販売会にご相談ください。

アドバイス

- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。

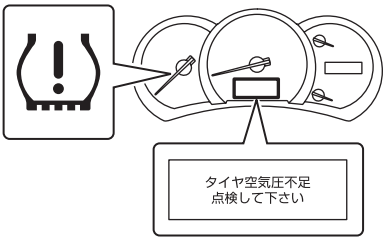
ZSD0035

- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。

タイヤ空気圧警報システム（空気圧充填完了ガイド機能付）

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧が不足していることを知らせるシステムです。

●タイヤ空気圧が指定の空気圧から約30%低下すると、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯し、車両情報ディスプレイに警告を表示します。



ZSD0032

タイヤ空気圧警告灯…P.140
タイヤ空気圧警告表示…P.122

●空気圧を正しく調整したあと、25km/h以上でしばらく走行するとタイヤ空気圧警告灯と車両情報ディスプレイの警告表示が消灯します。
●25km/h以上で走行したときに、作動します。
●システムに異常があるときは、タイヤ空気圧警告灯（P.140）が約1分間点滅したあとに点灯を続けます。

⚠ 注意

- タイヤ空気圧警告灯が点灯及び警告表示したときは、すみやかに安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあとに点灯を続けたときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤ空気圧センサーは、日本の電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
  - ・日本国内のみで使用する。
  - ・正しい使用方法以外では使用しない。
  - ・分解や改造はしない。（分解や改造したものを使用することは法律で禁止されています。）
- タイヤ空気圧センサーにはお客さまの車に適合する固有のIDコードが登録されています。他の車のタイヤやロードホイールを使用すると、システムが作動しません。
- タイヤを修理・交換するときはタイヤ空気圧センサーの取り付けやIDコードの登録をする必要があるため、日産販売会社へご相談ください。

アドバイス

- 以下の場合は、タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しない場合があります。
  - ・タイヤチェーンを装着しているとき。
  - ・日産純正品以外のタイヤやロードホイールを使用したとき。
  - ・近くに同じような無線周波数を使っている施設や器具があるとき。
  - ・車両、特にロードホイールハウスの周りに多くの雪や氷などが付いたとき。
  - ・タイヤパンク応急修理キットを使用したとき。
  - ・タイヤ空気圧センサーのIDがシステムに登録されていないとき。
  - ・電波に障害を与えるようなフィルムを窓ガラスに貼っているとき。
  - ・タイヤ空気圧センサーの電池が消耗したとき。
- タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。
  走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しており、電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅後、点灯します。電池の交換については、日産販売会社にご相談ください。
- 凹凸のある道路を走行するときは注意して走行してください。タイヤ空気圧センサーを破損させるおそれがあります。

知識

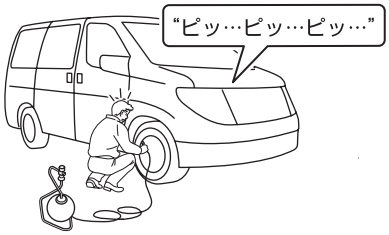
- 温度による空気圧の変化や自然に空気圧が減少したときにもタイヤ空気圧警告灯が点灯しますが、適切な空気圧に調整して消灯すれば故障ではありません。
- 高速走行時はタイヤ空気圧警告灯が点灯することがありますが、減速して消灯すれば故障ではありません。

空気圧充填完了ガイド機能

タイヤ空気圧を調整するときに使います。
指定空気圧に調整できるように、ブザーでお知らせする機能です。

■使いかた

①安全で平坦な場所に駐車します。
②セレクトレバーをPにします。
③電源ポジションをONにします。
・安全のため、エンジンはかけないでください。
エンジンスイッチ…P.155
④タイヤに空気を入れます。
・作業中であることを知らせるため、数秒後からブザーが“ピッ…ピッ…”と鳴り始めます。



ZSD0033

⑤指定のタイヤ空気圧になると、ブザーが“ピーピピ”と鳴ります。
⑥他のタイヤも①～⑤の操作で調整します。

アドバイス

- 以下の場合は、空気圧充填完了ガイド機能が正常に作動しない場合があります。
  - ・タイヤチェーンを装着しているとき。
  - ・日産純正品以外のタイヤやロードホイールを使用したとき。
  - ・近くに同じような無線周波数を使っている施設や器具があるとき。
  - ・車両、特にロードホイールハウスの周りに多くの雪や氷などが付いたとき。
  - ・タイヤパンク応急修理キットを使用したとき。
  - ・タイヤ空気圧センサーのIDがシステムに登録されていないとき。
  - ・電波に障害を与えるようなフィルムを窓ガラスに貼っているとき。
  - ・タイヤ空気圧センサーの電池が消耗したとき。
  - ・タイヤ空気圧警報システムが故障しているとき。
  - ・空気入れの充填能力が十分でないとき（電源ソケットを使用するものなど）
  - ・ブザーが故障しているとき。
  - ・近くで電装品などを使用しているとき。
- 以下の場合は、空気圧充填完了ガイド機能が作動していないと考えられます。
  - ・タイヤに空気を入れ始めてから15秒以内にブザーが鳴り始めないとき。
  - ・指定圧をお知らせする前にブザーが停止したとき。
- 空気圧充填完了ガイド機能が正常に作動しないときは、車両を前又は後ろに1mほど動かしてから、再度、空気圧の調整を行ってください。
  再度、調整を行っても正常に作動しない場合は、タイヤエアゲージを使用して調整を行い、日産販売会社へご相談ください。

知識

- 空気を入れ過ぎたときは、以下のブザーを目安に調節します。
  - ・タイヤ空気圧が指定圧より高くなるとブザーが“ピピピピピ”と鳴ります。
  - ・空気を抜き始めると作業中であることを知らせるため、数秒後からブザーが“ピッ…ピッ…”と鳴り始めます。
  - ・空気を抜いて指定の空気圧になると、ブザーが“ピーピピ”と鳴ります。

より良い環境のために

環境に配慮した省エネ運転をするために

●タイヤの空気圧を適正にしましょう
定期的にタイヤ空気圧を点検しましょう。適正値で50km走行すると、50kPa減のときに比べて、約150ccの燃料を節約できます。
⇒CO_2 1,250g削減（650km／月）

●不要な荷物は降ろして走行しましょう
10kgの荷物を降ろして50km走行すると、約15ccの燃料を節約できます。
⇒CO_2 130g削減（650km／月）

●計画的なドライブをしましょう
地図やナビゲーションシステムなどを利用して、計画と準備をしましょう。また、交通情報を確認して渋滞を避ければ燃料と時間を節約できます。

●駐停車のときはエンジンを止めましょう
5分間アイドリングをやめると、約65ccの燃料を節約できます。
⇒CO_2 420g削減（10回／月）

●急発進、急加速を控えましょう
急発進を1回やめると約17cc、急加速を1回やめると約11ccの燃料を節約できます。
⇒CO_2 360g削減（各20回／月）

●経済速度で走行しましょう
一般道路では40～50km/h、高速道路では80km/hが経済的です。
100km/h走行を80km/h走行にすると燃費が10～30%向上します。
※法定速度を守り、安全運転に心がけてください。

●アクセル操作はなめらかにしましょう
普通の発進より少し緩やかに発進しましょう。（最初の5秒で20km/hが目安）

●上手なアクセル操作をしましょう

加速

加速終了後は、アクセルを少し多めにもどしてみましょう。シフトアップやロックアップが確実にでき、効率がよくなります。

下り坂と減速

早めにアクセルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。ガソリンエンジンでは燃料噴射の停止により燃費がよくなります。

●エアコンは控えめに使いましょう
エアコンを約6分間停止すると、約70ccの燃料を節約できます。
⇒CO_2 1,340g削減（3時間／月）

※数値は、2,000ccクラスの乗用車（オートマチック車）の燃費11.7km/ℓ（10・15モード）を基準に算出しています。
※CO_2排出量はガソリン1ℓあたりのCO_2排出係数0.64で算出しています。
参考資料：
（社）日本自動車工業会「あしたへECO-MOTION」
（社）日本自動車連盟「ECO MANUAL 車に関する環境エコ基礎知識集」

使用済み部品は適切に処理しましょう

使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、購入した販売店に処分を依頼してください。
エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（エアコンガス）も必ず適切な処理をしてください。